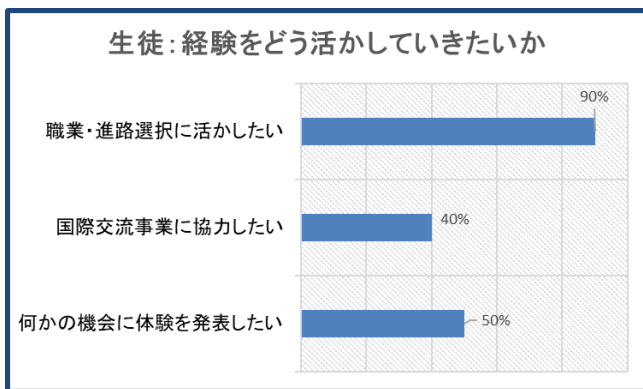
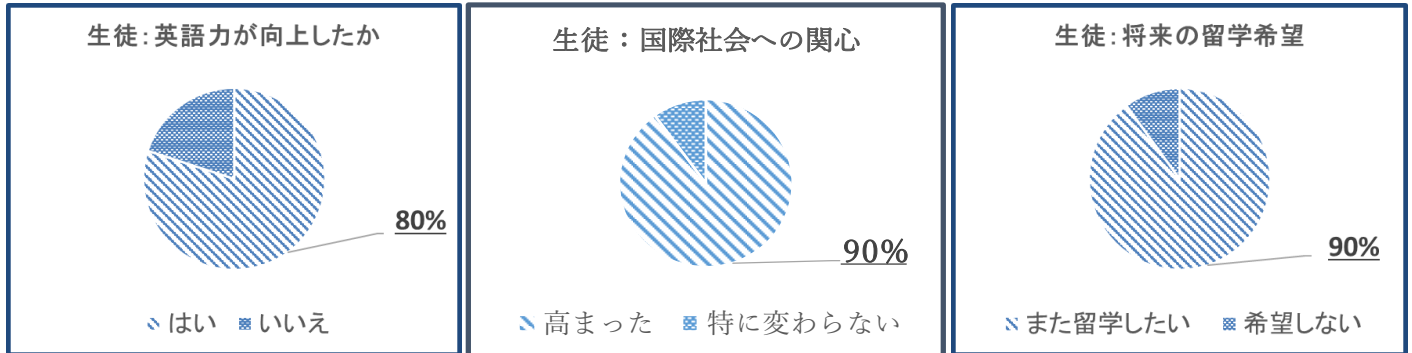


令和4年度(2022年度)高校生交換留学促進事業

—アンケート結果から見える事業効果—

■ 参加生徒へのアンケート (10名中)

10名中9名の生徒が、「国際社会への関心の高まり」を実感し、「将来また留学したい」と回答。

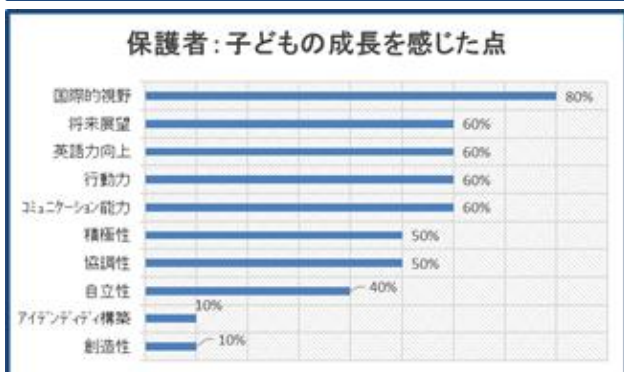
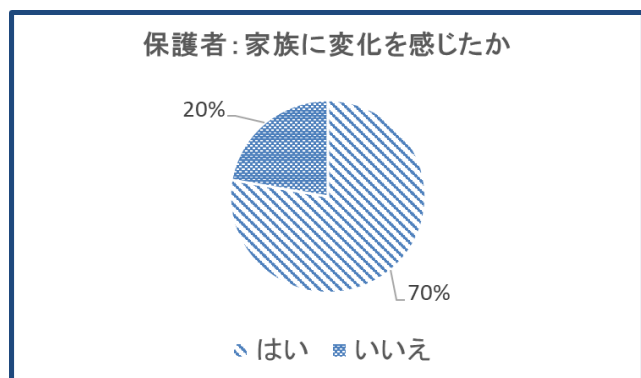
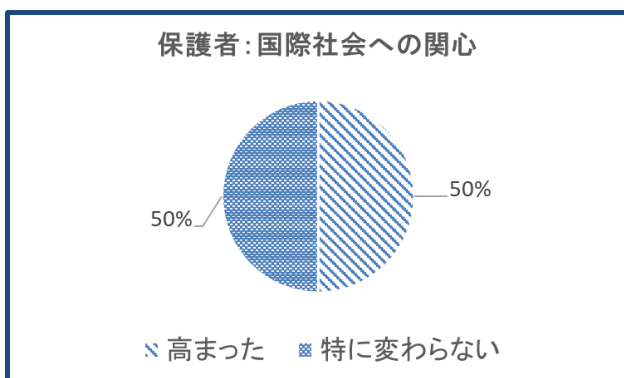


●参加生徒の感想●

- ・将来、英語を使った職業に就きたいと思っているので、この経験を生かしていきたい。
- ・今回の留学を通して、英語力(特にリスニング、スピーキング)が上がったのはもちろん、様々な人種がいるカナダに行ったことで国際的な考え、理解がすごく深まった。
- ・この2か月間でパートナーと互いに多くのことを学び、私の人生において貴重な経験となりました。

■ 保護者へのアンケート (10名中)

9割の保護者が、「国際社会への関心の高まり」と「受入による家族の意識等の変化」を実感。

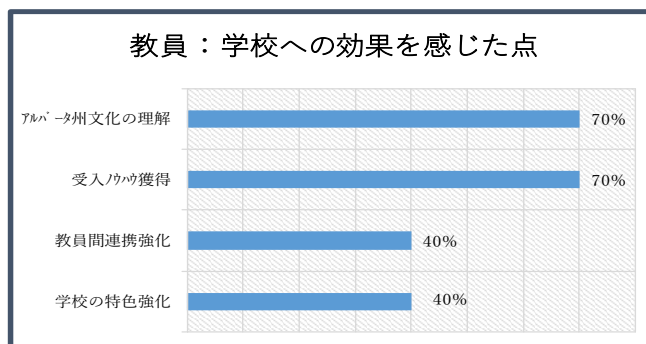
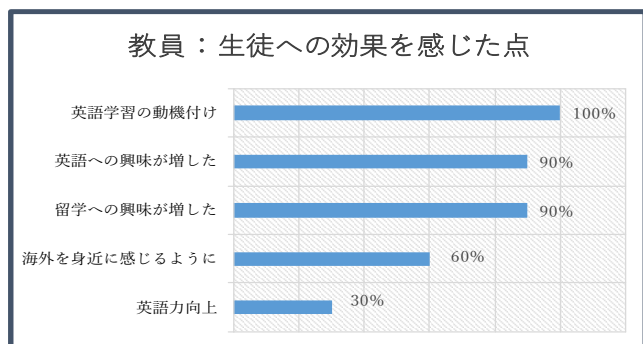


●参加保護者の感想●

- ・本人の強い希望で申し込みをさせていただき、親としてはいろいろ心配もしておりましたが、実際始まってからは素晴らしい毎日を送ることができました。
- ・参加者双方の家族が互いの子どもたちを思い、すべて好意でホームステイの生活を提供し、子どもたちも異国での生活の一端を経験できるのは、このような交換留学でしか味わえない。留学時期として、未成年者だからこその効果を重視したため、参加させることができてよかった。

■ 留学生受入校担当教員へのアンケート（10名中）

全ての学校が、「生徒の英語学習の動機付けとなった」と回答。また、9割の学校が「留学や英語への興味が増した」、「英語学習の動機付けとなった」などの生徒への効果を実感。学校への効果として、7割の学校が「アルバータ州の文化について知るきっかけとなった」、「留学生受入のノウハウが身に付いた」などを実感。



●受入校教員の感想●

- ・本校では今回初めて受入をしましたが、大変有意義な事業でした。本校生徒にとって身近に長期間留学生とその受入れ生徒がいることは特別で、「自分も留学を経験してみたい」「もっと英語でコミュニケーションをとれるようになりたい」という気持ちが抱く生徒が増えたように感じます。
- ・パートナーの生徒だけではなく、全学年の関わった生徒、教師にとっても国際交流、異文化理解の機会となっています
- ・コロナのため留学の機会や異文化交流などが少ない生徒にとって、貴重な機会となった。
- ・受入期間と今年度の募集時期が重なったため、本事業を身近に感じたり憧れを持ったりして参加を希望する生徒が増えました。